

各種出版物案内

学会出版物への御希望を別紙アンケートに御記入下さい

■ 若戸橋調査報告書・同工事報告書

定価：30 000 円（送料共）

内 容： 東洋一の大つり橋、若戸橋は、昭和 30 年 11 月に調査を開始、37 年 9 月にわが国の橋梁技術と国産資料を結集して完成した。本書は若戸橋の調査から、完成に至る 7 年間の工事状況を詳細に記述するとともに、騒音に対する住民の苦情に対してどのように対処したか、また外国の長大橋との比較検討などについてもふれ、今後行なわれるであろう関門海峡の架橋、本州四国への架橋等わが国の土木技術の前進になくなくてはならぬ参考資料です。限定出版につき残部が僅少ですのでお早めにお申込み下さい。

体 裁：B 5 判 調査報告書 920 ページ 工事報告書 1248 ページ

■ 土質実験指導書

定価：250 円（〒 50 円）

内 容： あらゆる構造物はすべて大地につながる。よい土にはよい作物ができるようにまた工事もスムーズに行なうことができる。非常に多種多様な土質をいかに理解し、それにあった工法をとるかが技術者の使命である。本書はこれら複雑な土質の実験はいかなる方法によって行なったらよいかを詳細に解説したものであり、使用者の便を考え各種の試験方法と試験結果を記入できるデータシートをそう入しているので学生はもとより一般技術者の参考資料としてぜひご利用下さい。

体 裁：B 5 判 本文 40 ページ データシート 25 葉

■ 土木材料実験指導書

定価：380 円（〒 70 円）

内 容： 土木関係で使う材料は多く、その用途は多方面にわたっているが、これらの材料はそれぞれ適性な試験をもって適否の判断をしなければならぬ。本書は現在土木関係で使われている材料を、1. セメント、2. 骨材、3. コンクリート、4. 鉄筋、5. アスファルトの 5 つに分け、それぞれに対するいろいろな試験方法を解説したものであり、巻末には試験結果を整理できるデータシートをとり入れてあるので、学生はじめ現場の技術者には非常に便利な参考資料です。

体 裁：B 5 判 本文 90 ページ データシート 36 葉

■ トンネル標準示方書

定価：100 円（〒 20 円）

内 容： 従来トンネル技術は、道路、鉄道、水力、かんがい排水などの各部門ごとに研究がすすめられていたが、今まで各部門を総合して共同研究する機会には恵まれていなかった。土木学会ではこの事に着目し、トンネル工学の一そうの進歩を期するため昭和 37 年 2 月、トンネル工学委員会を設け、トンネル工学の総合研究をすすめているが、その手初めとして 39 年 3 月トンネル標準示方書を制定した。本書は第 1 編 総則、第 2 編 調査、第 3 編 設計、第 4 編 施工、に 104 条の条文を設けてあるので一般技術者必けいの書である。

体 裁：A 5 判 26 ページ

■ トンネル標準示方書解説

定価：600 円 会員特価 500 円（〒 60 円）

内 容： 本書は上記示方書に逐条解説を加えるとともに、わが国の代表的地形を例にとり、地図や図面を多数用いて調査方法、設計例、施工例などがのべてある。

体 裁：B 5 判 128 ページ

■ 昭和 38 年増補改訂 水理公式集

定価：1400 円 会員特価 1100 円（〒 150 円）

内 容： 水理公式集は昭和 17 年 10 月に、河川および溪流、管路、溝渠、海波の 4 部門に分けて出版された。その後 24 年 9 月に、つづいて 32 年 8 月と過去 3 回刊行されている。昭和 38 年 8 月刊行とした本公式集は最近の学問の進歩にあわせて第 1 編 河川、第 2 編 発電水力、第 3 編 上下水道、第 4 編 港湾および海岸の 4 つに分けて、それぞれ代表的公式をあげてあるのでぜひ机上におそなえ下さい。

体 裁：A 5 判 604 ページ

..... (キリトリ線) .....

土木学会刊行物注文書

会員種別	氏 名	希望書籍名・部数	発 送 先
正 会 員			部
学 生 会 員			部
特 別 会 員			部
会 員 外			部

●御申込みの方へ

1. 御注文いただいた本は、代金・送料が添えてありませんと送本できません。この用紙に所定事項を御記入の上、現金書留、郵便為替、銀行小切手などと一緒に申込んで下さい。
2. 振替を御利用になる方はこの用紙は不要です。直接郵便局に備えつけられた振替用紙に所定事項をわかりやすく御記入の上、振替東京 16828 番の土木学会口座へお申込み下さい。

土木学会所在地：東京都新宿区四谷丁目・Tel. 351—5130 振替東京 16828 番

土木学会では昭和 39 年 11 月創立 50 周年を記念して下記の出版物を刊行しました。これらの出版物は土木界全般の要望に応じて、土木学会が総力をあげて編集にあたったもので、土木技術者はもとより、一般の方々も広くご講読下さるようおすすめいたします。

■ 日本の土木技術—100 年の発展のあゆみ—

定価：1 200 円（〒 150 円）

内 容： 最近のわが国の土木技術の隆盛には目をみはるものがあるが、これには明治以来、海外の技術を巧みにとり入れ、日本人の創意と工夫によりわが国状に適するように開発した結果である。本書は日本の土木技術の発展のあゆみを 6 項目にわけ、明治初期より最近の各種の輝かしい成果をとげるまでに発展した技術の流れを構造物を中心に記述した学生、技術者必読の書である。

I 土木技術と国土の開発：わが国の近代化と土木技術・国土計画と地方計画

II 水の利用と水との戦い：水資源開発・洪水との戦い（河川/砂防/海岸）

III 交通路の整備：交通政策・国有鉄道・民営鉄道・索道・鋼索鉄道・モノレール・道路・港湾・空港

IV 都市の建設：都市計画・都市交通（都市交通の発展/路面電車/地下鉄道）・衛生工学（はしがき/上水道/工業用水道の発展/下水道）

V 材料の進歩と構造技術の進展：鋼構造（構造の合理化への努力/長大径間へのいどみ等 7 章）・コンクリート構造（はじめに/材料施工/鉄筋コンクリート/プレストレスト コンクリート）

VI 基礎技術の進歩：測量・土質基礎・トンネル・ダム 付：土木技術史を中心とした年表・索引

体 裁： A 5 判 488 ページ 箱入上製

■ 建設/創造/技術（写真集）彰国社発行

定価：3 800 円（〒 200 円）

内 容： 最近 10 年間の土木技術の進展はめざましいものがある。戦後、土木工事の機械化にともない工事の進捗は早く、ここ数年の間に黒四ダム、若戸橋、東海道新幹線などの大工事が相ついで完成した。これらの工事の全ぼうを写真および解説でとらえ、立体的にとりまとめたのが本書であり、従来の写真集のイメージを打破した内容は高く評価されている。

論 文： 日本における建設の問題点/高橋 裕・開発と新しい生活の創造/川喜田二郎・土木技術—昨日と今日/久野悟郎

写 真： ダム/発電施設/土地造成・団地/農業/災害/河川/海岸/砂防/都市計画・オリンピック施設/上下水道/国鉄・鉄道橋・トンネル/私鉄/地下鉄/特殊鉄道/道路・道路橋/港湾/空港/研究・試験・実験/基礎工・土工・建設機械/材料/測量・その他

展 望： 産業基盤のための建設 ■ 災害に対応する建設/高橋 裕・国造りにおける産業偏重より生活創造への移行、わが国における交通関係施設の現況および課題/鈴木忠義・最近 10 年間の主要工事リスト

体 裁： A 4 判 233 ページ 箱入上製

■ 土木学会誌・論文集総索引

定価：800 円（〒 100 円）

内 容： 大正 4 年学会創立以来 50 年間（48 巻）にわたり学会誌、論文集に登載された約 5 000 件の題目を 23 章 195 節に整理し、他部門にまたがる論文は重複をいとわず索引しうるよう、きわめて親切な配慮をした。文献調査委員会がその総力をあげて編集にあたった本索引集は、付録として過去の文献抄録も配列してあるので、あらゆる面で利用価値はきわめて高い。会員各位の座右にあって大いに活用されることをおすすめする。

体 裁： B 5 判 260 ページ 写真植字 オフセット印刷

■ 日本土木史—大正元年より昭和 15 年まで—

予価：10 000 円（送料共）

内 容： 今日みる土木技術の隆盛は単に現在の時点に立って考えたのではわからない。過去の歴史を省み、現在を考え、そしてよりよい未来をみざすためにはだれでも多くの先輩が築き上げた過去の業績を考えなければならぬ。本書では大正元年から昭和 15 年間の土木のあらゆる部門をそれぞれ専門の方々にとりまとめたものであり、7 月に限定出版される。15 年以降も引続き続刊の予定。

体 裁： B 5 判 1 100 ページの予定